

「コロナ禍で加速する新たな物流の潮流について ～フィジカルインターネット～」

日時：4月20日(火) 16:50-18:35 (5限)

**国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)に
おける対面授業とオンラインでの受講の併用**

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、ヤマトホールディングス株式会社 特別顧問 木川 眞氏からお話を伺います。ここ数年、わが国では物流の重要性が着目され、生産性向上などに関する議論が活発になっていますが、コロナ禍でその動きはさらに加速しています。

内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)では、官民連携でサプライチェーン全体の生産性向上を目指した取り組みが進んでいますが、これはデータ基盤を整備するものでありまして、車や物流容器などフィジカルな面での標準化・共通化も不可欠であります。

本講義ではフィジカルな面の標準化・共通化を目指す新しい物流の概念で、最近、日本国内でも注目され始めている「フィジカルインターネット」について概説致します。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加・アクセス出来ません。)

※ 対面授業を希望する学生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け付けし、教室の定員を超えた場合にのみ個別に連絡する。

※ オンライン授業URLはITC-LMS又はUTASで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



ヤマトホールディングス
株式会社
特別顧問

木川 眞氏